

技術力で時代を先導する 埼玉西部地区企業

不透明さが続く世界の経済情勢の中、日本経済は小康状態を保っている。米国経済は依然底堅いと見られており、政策金利引き上げは年内となる見込みだが、中国経済減速がリスク要因として浮上。実体経済の縮小はあふれた投機マネーの反乱を起しやすく、株式市場の動向も気になるところだ。だが、日本には実体経済を守る「守護神」としての中小企業が存在がある。埼玉経済を支える技術企業各社の動向をリポートする。

（順不同）

本社工場を三芳町に移転 大和合金

近く埼玉県三芳町に取得した新本社工場に移転し、本格稼働に入る。同社は、1941

年の創業。故萩野茂氏がアルミ青銅合金の実用化のために東京都板橋区で起業。戦後に行ったん解散するも、53年に再度発足、以降銅合金一筋。写真は、戦中に勤労働員で大和合金にやって来た旧制

中学校学生らによる記念撮影。当時の仲間たちは、クラス会を定期的に開くなど、その絆を今も確認する。



中学校学生らによる記念撮影。当時の仲間たちは、クラス会を定期的に開くなど、その絆を今も確認する。